

市民参加プロセス計画書：（仮称）食文化条例の制定

Q・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

本市には歴史豊かな背景や、自然環境に応じた多様な風俗習慣と独特な食文化があり、これらは市民共有の財産であるとともに、未来へ継承すべき伝統文化の一つです。その一方で、近頃は「食」の選択の広がりや生活様式の多様化、地域コミュニティの低下により、家庭や地域で郷土料理を食べる機会や、継承する機会が減少し、特色ある食文化の衰退が懸念されます。こうしたことから、本市の「食」について歴史的背景や習慣を文化として将来へ引き継ぎ、市民の愛着が深まるよう食文化の普及・振興を目指していきます。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者（対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階		「もっと家康公」と「まんなかプロジェクト」の後世に残る事業の一つとして位置付けられており、検討段階における市民参加の余地がほとんどありません。そのため、「（仮称）食文化条例の制定」の概要・方向性について検討			
構想段階	令和6年7月	第一回岡崎市食育推進会議専門委員会議	専門委員（学識経験者、食品産業関係者、農業関係者及び市民公募による委員からの意見を聴取したいため）	・条例制定についての概要 ・今後のスケジュールについて ・行動計画（素案）作成について	本市の課題・特徴、条例のあり方について専門的な立場で御意見をお聴きし、方向性を確認する
	令和6年8月	アンケート（食育イベント参加者アンケートにて）	イベント参加者及び会場をおとすれた全ての市民（種々の市民の率直な意見をお聴きしたいため）	・条例制定に関する市民の意識調査	市民の率直な御意見をお聴きし、条例制定についての参考とする
計画段階	令和6年8月	オープンハウス（パネル展示）	施設をおとすれた全ての市民（種々の市民に考え方を伝えるため）	・条例制定についての概要 ・今後のスケジュールについて	市民の率直な御意見、御要望をお聴きし、計画の方向性、重点事項、事業の展開についての参考とする
	令和6年10月	アンケート（げんき祭り参加者アンケートにて）	イベント参加者及び会場をおとすれた全ての市民（種々の市民の率直な意見をお聴きしたいため）	・条例制定に関する市民の意識調査	市民の率直な御意見をお聴きし、条例制定についての参考とする
	令和6年11月	オープンハウス（パネル展示）	施設をおとすれた全ての市民（種々の市民に考え方を伝えるため）	・条例制定についての概要 ・今後のスケジュールについて	市民の率直な御意見、御要望をお聴きし、計画の方向性、重点事項、事業の展開についての参考とする
	令和6年11月	第二回岡崎市食育推進会議専門委員会議	専門委員（学識経験者、食品産業関係者、農業関係者及び市民公募による委員からの意見を聴取したいため）	・条例制定についての意見 ・今後のスケジュールについて ・行動計画（素案）作成について	本市の課題・特徴、条例のあり方について専門的な立場で御意見をお聴きし、方向性を確認する
	令和7年2月	第三回岡崎市食育推進会議専門委員会議	専門委員（学識経験者、食品産業関係者、農業関係者及び市民公募による委員からの意見を聴取したいため）	・条例制定についての意見 ・今後のスケジュールについて ・行動計画（素案）作成について	本市の課題・特徴、条例のあり方について専門的な立場で御意見をお聴きし、方向性を確認する
	令和7年3月	岡崎市食育推進会議	専門委員（学識経験者、食品産業関係者、農業関係者、市民公募及び行政関係者による委員からの意見を聴取したいため）	・条例制定についての意見 ・今後のスケジュールについて ・行動計画（素案）について	本市の課題・特徴、条例のあり方について専門的な立場で御意見をお聴きし、方向性を確認する
	令和7年8月	パブリックコメント	全市民（パブリックコメントは誰からの意見も受け付けるため）	・計画（案）に対する意見	計画（案）の内容に対する合意を得る。
	令和7年11月	第二回岡崎市食育推進会議専門委員会議	専門委員（学識経験者、食品産業関係者、農業関係者及び市民公募による委員からの意見を聴取したいため）	・パブリックコメントの実施結果 ・条例（案）についての意見 ・今後のスケジュールについて ・行動計画（案）についての意見	パブコメ後の修正した計画（案）について結論をまとめる。
	令和8年3月	岡崎市食育推進会議	専門委員（学識経験者、食品産業関係者、農業関係者、市民公募及び行政関係者による委員からの意見を聴取したいため）	・計画の最終報告	計画の最終案について専門的な御意見をお聴きし、計画の方向性を確認する
	実施・運用段階				